

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「世界一の安全・安心社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

ヒューメインなサービスインダストリーの創出

3. 研究開発課題名

情報活用による高齢者シェアダイニングの構築

4. 研究開発代表者名(機関名・役職は評価時点)

日下 菜穂子(同志社女子大学 現代社会学部 教授)

5. 評価結果

高齢や身体的障害などにより社会的な活動が低調となる者に対して、「食のプラットフォーム」を通じた社会参画により心身を活性化し、様々な人・物・資金をつなげるという新たな幸福追求型の社会活動を実証的に具現化しようとする挑戦的であり、社会的に極めて意義がある取り組みと評価する。

また、心理学と数々の試行による実践等に裏付けられた提案であると評価され、食を活用したオープンイノベーションのプラットフォームとして実現可能性が認められる。

以上のような探索研究期間での研究開発によって当初の計画を上回る顕著な成果を上げており、今後の研究開発の進展についても大きな期待が持たれる。

以上